

待や暖かさを全く感じるできません。まさに、部下の成長を願うというよりも、その存在を否定してしまうパワハラだといえます。

パワハラの研修を行うと「私たちの時代には、今パワハラといわれているようなことを言われてきたし、自分が上司になったときは部下に言ってきた。どうして今さらパワハラと騒ぐのだ。」という意見が出ます。その時代は、人格を否定され、意見を言おうとしても「実績がないくせに何をいうのだ」、「実績を示してから言え」、と言われ悔しい思いをしてきたのです。今、パワハラという言葉が生まれ、人格を傷つけられることに対して「それは問題だ」と声を上げる力を得たのです。

4. パワハラのない職場づくりのために「始めたいこと やめたいこと 変えたいこと」をグループで話し合ってください。

▶話し合いの内容を発表する

【発展編】

●パワハラとは

パワハラの定義について学びます。資料「[パワハラの定義]について」を配り、説明することもできます

Aさんは営業部長です。若い頃から朝早く来て夜中まで仕事をして、営業目標を達成してきました。また、若い頃から上司にお酒を飲みに誘われると断ったことがありませんでした。

BさんはA営業部長の部下の営業課長です。B営業課長の課の売り上げ成績は、ここ2ヶ月間目標を達成していません。

B課長はA部長に「売り上げ目標を達成できないような課長はいらない。責任を取れ、辞表をもってこい。」と言われるようになりました。B課長はA部長の自分への叱咤^{しつたげきれい}激励であり、自分の能力不足が問題だと感じています。

A部長はB課長に「お前は能力のない役立たず。私がやってきたように、朝は一番電車で来て、夜はタクシーで帰るくらいの時間まで仕事をやらないから、売り上げが目標に達成できないのだ。」と口癖のように言います。

A部長はお酒が好きで、毎日のように飲みに行きます。B課長はA部長から誘われますが仕事の関係で断ると、A部長から「俺が呼ぶときは用事があるから呼ぶのだ。何で来ない。」と怒鳴られます。しかたがないので10時を過ぎてからでもA部長のいるお店に行くこととなります。

このごろ、B課長は仕事中に週3回ほどA部長に怒られるようになりました。A部長は怒り出すと2時間くらいは怒鳴りっぱなしです。

B課長は初めA部長の叱咤^{しつたげきれい}激励とと思っていましたが、この頃はA部長と顔を合わせるのも怖くなり、声も聞きたくありません。夜もあまり寝ることができなくなりました。会社に行くのが辛くなって友人に相談しました。